

ホタテガイ採苗速報

西湾では6月初め、東湾では6月中旬に通常間引きを

1 ホタテガイの付着状況

5月23～27日に行った第1回全湾付着稚貝調査結果は、図1、2および表1のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、西湾で40,463個/袋、東湾で299,086個/袋とそれぞれの平年値(過去10年の平均値)94,779個/袋、403,266個/袋より少なくなっています。

稚貝の平均殻長は、西湾で1.37mm、東湾では1.12mmと、それぞれの平年値0.84mm、0.73mmよりも大きく、6月上～中旬の臨時付着稚貝調査時の過去10年平均値それぞれ1.38mm、1.10mmと同じようなサイズとなっています。

2 キヌマトイガイ等の付着状況

キヌマトイガイの付着数は、全湾平均で88,565個/袋と平年値108,462個/袋より少なく、ムラサキイガイでは77,503個/袋と平年値48,341個/袋より多い状況です。なお、ウミセミは全湾平均で1個/袋が採苗器の中に付着していました。ヒトデは見られませんでした。トゲクリガニの稚ガニがむつ市で平均3個/袋、脇野沢村、川内実験漁場で1個/袋見られました。

3 水温の状況

各ブイの5月21～27日の週別平均水温は表2のとおりです。15m層の5月第5半旬平均水温は平館、青森、東湾の全ブイで平年並みとなっています。

4 今後の見込み

付着数が多い採苗器は、稚貝の成長が悪くなり、稚貝採取が大幅に遅れる可能性があります。付着数にばらつきが見られるので、付着状況を十分に把握して間引きしましょう。

西湾では6月初め、東湾では6月中旬には確実に目で見えるサイズ(殻長2～3mm)になり通常間引きができる見込みです。ただし、付着数が数十万個と非常に多い場合には、平館では直ちに、東湾では来週から「早期間引きの目安(写真)」を参考に、目で見えるサイズ(殻長1～2mm)で早期間引きを始めてください。

なお、採苗器の中にウミセミや稚ガニが多く、ホタテガイの付着数が少ない場合は、直ちに袋替えをしてください。その際、粗目の袋(ラッセル2分目、タマネギ袋)や穴の開いた袋は使わないようにしてください。

稚貝採取時期については、6月8日に第2回臨時付着稚貝調査(間引き前の中層1袋)を実施し、6月11日発行予定の採苗速報第9号に情報を掲載しますので、参考にしてください。

※袋替えおよび間引き作業の注意点

- 採苗器の状況を十分に把握する(稚貝の付着数は地域、垂下水深、投入時期等によって異なる)。
- 稚貝へのショックは出来るだけ少なくする(間引きを行う場合は、流網などの付着基質を上下に振るだけにして船べり等に叩き付けない)。
- 採苗器へ残す稚貝の数を自分の目で確認しながら適正にする(2万個程度になるように)。
- 作業後は、施設を安定させる。
- ヒトデの付着が見られるときは、結び目をよく洗う。

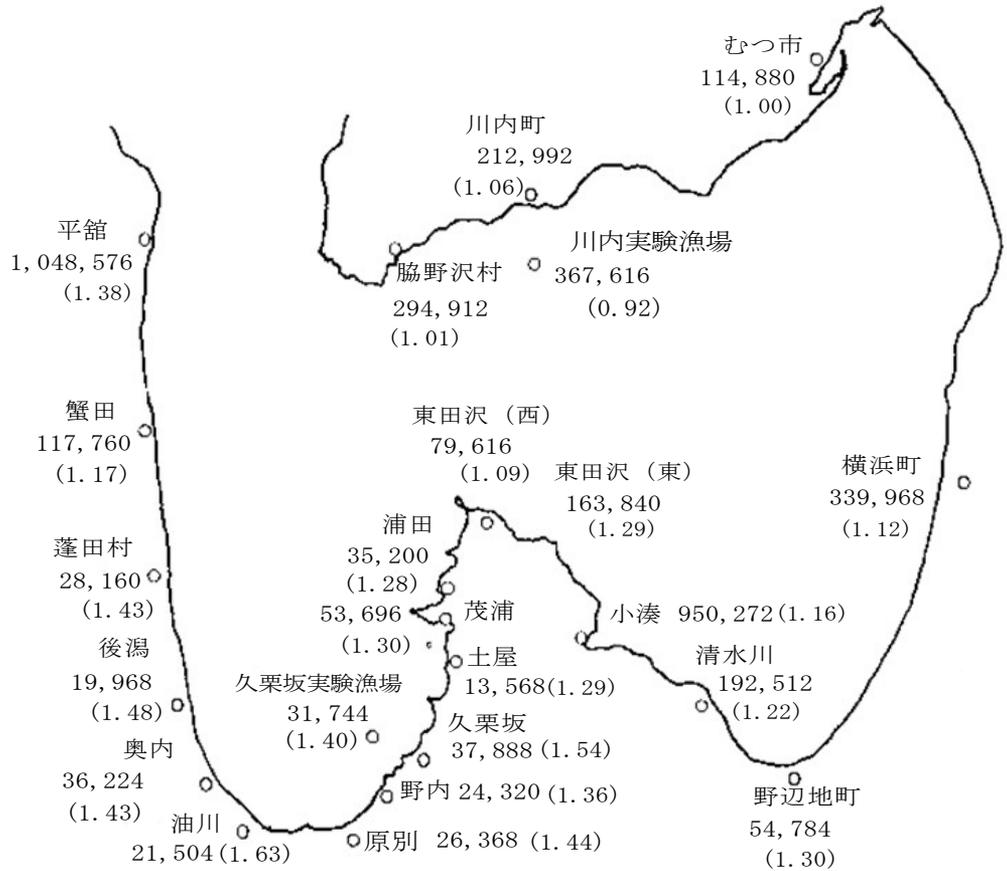


図1 漁協、支所別のホタテガイ付着数[単位:個/袋(平均殻長mm)]

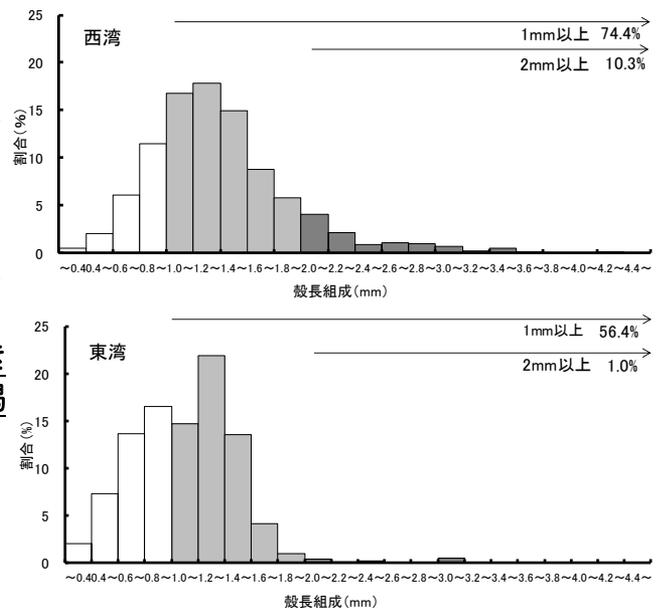


図2 ホタテガイ稚貝の殻長組成

表2 各ブイの1週間(5/21～5/27)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	11.1～11.7	東田沢ブイ	-	浜奥内ブイ	-
蓬田ブイ	11.2～11.6	清水川ブイ	10.1～11.7	川内ブイ	10.7～11.6
奥内ブイ	-	野辺地ブイ	9.3～11.6	脇野沢ブイ	-
青森ブイ	10.9～12.2	東湾ブイ	10.1～11.3		
浦田ブイ	-	横浜ブイ	-		

--:メンテナンス中

